

ことばの教室だより

あきる野市立前田小学校
ことばの教室
042(532)3681(直通)
令和6年6月26日

あと少しで夏休み!

早いもので、1学期も残りわずかとなりました。今年は平年よりも遅い梅雨入りとなりました。湿気の多い梅雨時は、体がだるかったり、頭痛がしたりと、体調不良を引き起こしやすい季節です。規則正しい生活や適度な運動を心がけて、無理せず乗り切れるといいですね。

あと少しで長い夏休みが始まります。日頃できない夏らしい体験を少しでも多くできるといいですね。子どもたちからの報告を楽しみにしています!

ことばときこえの相談(一斉)を行います

7月4日(木)~12日(金)の期間は、「ことばときこえの相談(一斉)」を行うため、通級指導を休止させていただきます。5月中旬に市内の全児童へお知らせを配布し、29件という多数の申し込みをいただきました。子供たちが抱える困難に少しでも早く気づき、一人一人に合った指導を行うための一歩になればと思います。

「ことばときこえの相談(一斉)」の申し込みはすでに締め切っておりますが、この期間以外にも、随時相談を受け付けています。心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

正しく発音できない

読み書きが苦手

補聴器をつけている

吃音がある

言いたいことがうまく言えない

2 学期指導開始日
9月3日(火)

「さん付け」で呼ぶということ

みなさんは子供の頃どんなあだ名で呼ばれていましたか。気に入っていた、嫌だったなど、色々な思いがあるのではないのでしょうか。これまで学校では、友達をあだ名で呼んだり、呼び捨てにしたり、女の子には「さん」、男の子には「くん」を付けて呼ぶことが多くありました。しかし現在では、人権への配慮から、男女共に「さん付け」で呼ぶ学校が増えてきています。この「さん付け」とは、その名の通り、人の名前に「さん」を付けて呼ぶことで、敬意や親しみを表す丁寧な呼び方です。

あだ名は、親近感や親しみやすさを生み出し、人と人の距離を縮める効果があると感じている人にとっては、あだ名ではなく「さん付け」で呼ぶと、よそよそしくて他人行儀に感じてしまうこともあるでしょう。しかし、「さん付け」で呼ぶことにはたくさんのメリットがあるのです。

メリット① 『一人一人を平等に大切にする』

あだ名には、身体的特徴や失敗行動など、相手を蔑視したり、嫌な気分させたりするものがあります。また、名字、名前、あだ名など呼び方が異なることで、場合によっては差別感や圧迫感などを抱くこともあります。そしてそれらが結果的に、いじめにつながってしまう可能性もあります。人を大切にする呼び方である「さん付け」をすることで、お互いの自己肯定感も上がり、いじめのリスクを極力排除することもできます。

メリット② 『優しい言葉遣いになる』

「さん付け」をすると、後に続く言葉遣いが自然と優しく丁寧になる傾向があります。逆に、呼び捨てや蔑視的なあだ名の後には、命令口調や乱暴な言葉が続くようなことが想像できると思います。

丁寧な言葉遣いを心がけると、心も穏やかになります。「さん付け」は、優しく丁寧な人間関係を構築するために有効です。

メリット③ 『性差を区別しない』

「男性はこうあるべき、女性はこうあるべき」といったように、社会的・文化的に形成された性別のことをジェンダーと言います。男の子に対して「くん付け」、女の子に対して「さん付け」という使い分けをすることは、このジェンダーの平等・公正という観点からは好ましくありません。

また、外見や名前などの情報だけにに基づき、男女を勝手に判断して「くん」「さん」と区別して表現することは、当事者の性自認と異なっている場合、苦痛を感じさせてしまうことがあります。

こうしたジェンダー的な公正さ、望まない性に基づく敬称に苦痛を感じる人への配慮という点においても「さん付け」は公平・公正な呼び方です。

前田小学校では今年度から、教職員が児童を呼ぶときに、「さん付け」で呼ぶことを心がけています。児童間においても、特に授業中は「さん付け」で呼び合うことを推奨しています。もちろん他の呼び方を全て否定するものではなく、「名前を呼ばれる人が、違和感や不快な思いをしない」ということが大切です。

まずは教職員から「さん付け」で呼ぶことを実践し、互いを尊重する人間関係の素地をつくっていきたいと思います。